

◎赤十字アルブミン 25%静注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 人血清アルブミン (U) human serum albumin 【分類】 人血清アルブミン

【単位】 ◎50mL/V [25%] 【特生物】

【常用量】 1回 20～50mL

【用法】 緩徐に静注, 点滴静注

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 膠質浸透圧を上げ、組織水分を血管内に引き込むことにより循環血漿量を維持する。アルブミン 1g は平均 20mL の間質液を循環血流中に引き込む性質を持ち、12.5g のアルブミン投与による血漿増量効果は約 250mL に相当し、血漿増量効果は 48 時間持続する。20%アルブミン 50mL は間質から 150mL の水を引き寄せる

【主な副作用・毒性】 ショック、血圧低下、顔面紅潮、蕁麻疹、嘔気、頭痛

【モニターすべき項目】 血圧、肺動脈楔入圧 (U)

【t1/2】 消失半減期 15～20 日 (U)

【Vd】 細胞外液全体に分布する ; 60%以上が血管外液分画に存在 (U)

【MW】 66300～69000 (U)

【透析性】 分子量が大きいため透析で除去されない (5)

【主な臨床報告】 各疾患におけるアルブミン使用に関する評価 (Abedi F, et al: Eur J Clin Pharmacol 2024 PMID: 38607390)

【効果発現時間】 溢水患者では血漿増加作用の発現は 15min

【効果持続時間】 初期血漿量に依存。血漿量減少者では何時間も効果が持続するが、血漿量が正常であれば作用の持続は短い。

【備考】 使用量の算定は : (アルブミン期待値 - 実測値) × 循環血液量 × 2 (g) で算出される。アルブミン濃度 4g/dL 以上で投与すると合成能が抑制される。高濃度溶液の急速輸注は心不全、血圧低下を招く可能性あり

【更新日】 20240418

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。